

国際交流サロン

今月から「世界の家族ごはん」を2カ国ずつご紹介します。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国名と都市	日本 東京小平市	ポーランド コンスタンチン
家族構成	両親、子ども10代(女2)	両親、子ども10代(女1) 祖父母
一週間の食費	約3万7000円	約1万3000円 (582ズウォティ)
好きな食べ物と特徴	刺身、果物、ケーキ、ポテトチップス(スナック菓子類が好き)	豚の脚や膝関節の肉とニンジン煮込み、パースニップ(甘いニンジン)とセロリ(ニンジンが好き)

*乳児(2歳未満)、幼児(6歳未満)、子ども(13歳未満)、子ども10代、子ども20代で表記

国際交流サロンの4月からの新企画記事のご案内

今月から、国際交流サロンの新しい企画記事「世界の家族のごはん、2カ国比較」が始まりました。世界24カ国の一週間分の食料と食費を比較した、米TIMEの掲載写真(2011年)から、各国の平均家族構成を比較して、経済状況、食文化を読み取り、2カ国ずつ比較しました。一週間の食費が一番高かったのはドイツの4万円、安かったのはチャドの100円でした。世界の平均は1万7048円です。これから、各国を順に紹介していきますので、お楽しみに。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)



ひな祭り、英語の絵本の読み語り会

5月の国際交流情報

4月29日(日)～5月5日(土)

陶炎祭(ひまつり) ホームタウンガイド・サービス

外国人に英語で観光案内をします

会場：陶炎祭会場・つつじ祭り会場・笠間稲荷神社

時間：午後10時～午後16時

☆5月の日本語教室の開講日

5月12日(土)、19日(土)、26日(土)

(友部公民館10:00am.～)

市長コラム

民生委員・児童委員、保護司

少子高齢化や社会環境の変化に伴い、社会のさまざまな問題が浮き彫りとなつていきます。最近の報道では一人暮らし高齢者の増加、児童虐待、孤独死や孤立死等が取り上げられています。

このような社会問題に対処することは行政の役割であります。全世帯の生活状態をリアルタイムで把握することは困難であり、行政にも限界があります。そこでこれらの問題にボランティアとして専門的に、そし

て積極的に取組みを行っていただいているのが民生委員・児童委員、保護司の方々であります。役割とはいえ、時間を割いて職務に取り組んでいただいていることには頭が下がる思いです。

委員の身分は市の推薦を受け担当大臣が任命するものであります。現在の制度状況は、多種多様な課題を委員にたより過ぎるのではないかと考えられてなりません。仕事の役割を考えると、任命権者である国が待遇の改善を図るべきですが、地域や社会全体として仕組みを構築していくことも大切であると思えます。東日本大震災以降、コミュニケーションの大切さが言われていますが、皆さんの小さな親切と見守りの積み重ねが、不幸な事件を未然に防ぎ、より安心・安全な地域社会の形成に繋がっていくと考えます。

市としては、今後とも委員との関係連携を強化してまいります。

笠間市長

山口伸樹



▲防災講演会(3月10日)